



慈愛の種を 播きましょう

2002～2003年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区 — 佐野 孝
ガバナー — 松谷 昊吉
会長 — 佐野 勝栄
会長エレクト — 渡辺 喜彦
副会長 — 洪谷 正一
幹事 — 荻根澤 隆雄
副幹事 — 山田 富義
S A A — 杉山 幸英
副 S A A

例会日 — 毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局 — 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店内
例会場 — TEL 35-3311
TEL 35-3477
事務局 — FAX 32-7095
E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

| | |
|---------|----------|
| 本日出席会員数 | 65名中 49名 |
| 先々週出席率 | 84.38% |

先週のメイクアップ

- 8/30 高田へ 加藤紋次郎さん
- 9/5 白根へ 西山徳厚さん
- 9/5 地区社会奉仕委員会へ
西山徳厚さん
- 9/8 I・Mへ (巻) 松谷昊吉さん、
洪谷正一さん、細井増雄さん、佐野勝栄さん、
渡辺喜彦さん、山田富義さん、清水良一さん、
小出子恵出さん、橘直樹さん、五十嵐昭一さん、
小越憲泰さん、長谷川有美さん、船越正夫さん、
早川昭雄さん、高森章仁さん、相場亮嗣さん、
佐藤浩一さん、石橋育於さん
- 9/9 三条南へ 捧賢一さん、
長谷川有美さん、五十嵐晋三さん、
小越憲泰さん、五十嵐総一さん
- 9/10 三条北へ 五十嵐総一さん、
五十嵐晋三さん、洪谷健一さん、石橋育於さん

会長挨拶

松谷昊吉会長

ちょうど一年前にアメリカで同時テロが起きました。その日、ロータリーの山仲間と4人で飲んでいて、10時半頃に昭栄通りの麦の親父さんに呼び止められ、それを知り急いでテレビを見せてもらって、大きなショックを受けたことを昨日のこのように記憶しています。

それから一年、アメリカ軍のアフガン進攻等いろいろありましたが、とても解決したとは言えませんし、むしろややこしくなっているようにも感じられます。

この所、再びテロが起こるのではないかと心配されており、その中でも汚い爆弾と呼ばれる低レベルの放射性物質を使って作るものが話題になっておりまして、何よりもその材料となる放射性物質が官民合わせて1,500件も紛失や盗難にあっていて、解決したのはほぼ半分位だそうですから、管理のずさんさにはあきれざるばかりです。

この秋にはイラクを攻撃、その後は北朝鮮と本当かうわさかは定かではありませんが、巷間で流れている

ことは御承知の通りです。中には、犯人の中にアフガン人が誰もいないにもかかわらず、アフガン戦が行われたのは、国土に岩山が多く似ていると言われる北朝鮮を攻撃するための予行演習で、本命はあくまでも北朝鮮だとも言われてもいます。

一昨日、アメリカに行った小泉さんは、イラクを攻撃するにしても大義名分が必要だと言っておられましたが、他国に無理やり進攻する大義名分は本当に納得出来るものでしょうか。

幹事報告

渋谷正一幹事

◎原ガバナーエレクト事務所開設のご案内がとどいております。

所在地 長岡市坂之上町 2-1-1
長岡商工会議所 6F
TEL 0258-33-7212
FAX 0258-33-7213

ニコニコBOX



松谷晃吉さん

8日のIMに参加して下さった皆さん、ありがとうございました。

丸山行彦さん

三条商工会議所主催の会頭杯コンペで宿泊券をいただきました。

菊池 渉さん

片貝の花火を見てきました。一つ一つにコメントが付いて、楽しい時間を持ってました。

佐藤 武さん

都合により早退させていただきます。

五十嵐総一さん

都合により早退させていただきます。

荻根澤隆雄さん

15日の日曜日に富士山の近く迄出掛けて来ます。昨年は雲一つない快晴でした。今回も楽しみにしています。

五十嵐力さん

先日の日曜日にゴルフに行き、馬(人)券が当たりましたので。

9月11日分 ￥ 8,000
今年度累計 ￥170,000

クラブフォーラム

「I・M報告」

松谷会長

8月11日の日曜、午前中にアクトと河川敷の清掃の後、IMに参加いたしました。

午後1:00から巻の文化会館で開会されましたが、前日に以前分区代理をされた分水の平野さんと、加茂の川口さんが亡くなられたとのことで黙祷いたしました。御二人とも地区にいろいろ貢献されました。御冥福を御祈りいたします。

さて、1:50分からフォーラムで、今回は地域における環境保全活動の現況報告と今後の活動計画について10クラブの会長がパネラーとして説明とAGの質問に答えるという形で進みました。

実はペットの時に環境保全活動をテーマにすると聞かされて各クラブとも頭をかかえておりました。実際の所、せいぜいゴミ拾い位しかやっておられないので、与えられた時間をどう使って報告したらいいか苦労されていたようです。私もですが。

あるクラブでは委員会にまかせっきりで具体的に何も知らないとおっしゃった会長さんもおられました。おしなべて、クリーンデイの参加、植樹、公園整備、講演会、卓話をしているとのこと。見附は、織物の町だけに化学繊維の処理は埋め立てしても土に戻らないし、焼却も特別な高熱装置で行っているが、完全に灰とはならないと困っておられました。

いずれにしても、自然環境の悪化は加速度的に進行し、その歯止めがかからない状況を憂いておられます。

私はそういう状況の中だからこそ、分区地区という大きな器を利用して、地区分区で何が出来るか考え行動するときが来ているのではと提案しましたが、IMは決議する所ではないし、楽しさがある程度上回ってもよい性質のものかも知れないという、開催にあたって寄せられたガバナーのメッセージのもと、お答えをいただくことは残念ながらありませんでした。

確かに親睦という意味では文化会館でのアトラクションは新潟の万代太鼓の視覚障害者チームが演奏されましたが、障害をおして頑張っている様子には頭が下がります。

親睦会場での岩室のほてる大橋では、文化会館で200名位の参加だったはずの人数が300名以上に増えたとゼネラルリーダーの大島さんは苦笑いされておられましたが、看護士をされている女性の歌謡ショーがあったり、きれいだころもけっこう入って盛り上がり、良い会だったと思います。

そんな中で、ゼネラルリーダーの大島PGのお話は、ロータリーは決議として個々のクラブに対して、そ

の遂行すべきプログラムの完全な自治を認める反面、他方の行動を無視すべきでない、奉仕活動も自分の国、自分のクラブの基準だけで判断することなくグローバルな立場で見てほしい、社会奉仕を広げて考えると地域に根ざした活動だが、いろいろの地域でいろいろな活動がされている。

地域によっては貧困のため食べるものがない所が沢山ある。地域紛争が続きどうやって生きていったらいいか悩んでいる地域もある。言葉は話せても文字の書けない地域がある。

私達が町のためにとか市民が住みやすいようにと活動するのは誰もが考えることだ。それも大切には違いはないけれど、他面、関東大震災の時に世界中のRCから当時のお金で3,000万という大金の援助があって大変助かったことも思い出して、グローバルな目でやりたくともやれない、行きたくとも行けない人達に手助けしてほしい、私達はロータリーを通じてロータリーを知らなければならない。

何もしないで、批判しているだけで無く、私達が奉仕をすることによって救われる人達がいるのだから、人のために何かをすることに救う喜びや充実感、満足感を感じてほしいと総評されました。

渋谷幹事

第4分区、10クラブの会長さんは、十人十色とは良く言ったもので、今までどおりの考えを発表される方、ご自分の意見を述べられる方、意見の言えない方もおられるかも知れませんが、自分達のクラブをまとめて行くためには、どうすべきかという考えは脈々とつながっている気がしました。

地域における環境保全活動の現況報告と今後の保全活動がテーマでしたが、会場のたれ幕が(地球における)になっており、よりグローバルな形で書いてあり、あれが誤植なのか、意志をもって書かれたのか、あれだけの方が見ておられて何も言わなかったのが疑問に思いました。

また、アトラクションの聾啞者の太鼓(新潟万代太鼓江陵会)を聞くだけで心を洗われる思いをした大会ではなかったかと思えます。

さらに良かったのは第2部の親睦会ですが、¥10,000の会費で本当に良いのかなと思うほどのすばらしい親睦会であり、すばらしいIMであったと思います。

佐野会長エレクト

先日、南フランスで環境と開発のサミットが終了しました。これで、地球の温暖化が問題になっております。この100年で地球の平均気温が0.8℃上昇しています。

ちなみに首都圏の東京では3℃上がりました。30℃を越える日が30日以上だったのは首都圏の東京、名古屋、大阪は全て越えております。

それでは100年後がどれくらい上昇するのか、このまま何の歯止めなく上昇したらどうなるか、ある科学者が推量しました。

3℃~5℃上がるそうです。そうしますと1℃上がると氷が解けて海面が50cm上がる。海拔2m以下の地域や島はたくさんあります。3℃~5℃上がれば完全に水没です。ですから、寺泊の海の家あたりは完全に水没してしまう。これほど大変な問題です。

地球のオゾン層が破壊されています。フロンは車のエアコン、冷蔵庫に使用されておりますが、規制され禁止されています。しかし、最も使用されているのは、IT産業で半導体の製造工程で、最後は純水で洗浄しますが、前処理工程にフロンが大量に使用されております。

これから地球規模で温暖化、CO₂、NOX(窒素酸化物)そういったものが大きな問題になって来ると思えます。

今回、ロータリークラブのIMでこのテーマを掲げたわけですが、一クラブで地球規模の問題が解決する訳がありません。まず、足元の地域からということでしょうが、会長が言われるように、まず地域よりも個人から、家庭から生ごみを出さない、事業所であれば大きい車から小さい車に換えてなるべく排気ガスを少なくし、エコ化を進めて行く努力が大事かと思えます。

10クラブの会長が言っておられましたが、環境美化運動が主力で、ゴミ拾い、植樹が中心ですが、皆さん一生懸命やっておられます。私が特に印象に残ったのは(巻クラブ)の活動で、角田山麓で水芭蕉が群生しており、環境整備で木道を作っており、大変な努力で自然保護には重要な作業だと思えました。田上あじさいクラブでは在来のメダカが幅1m、長さ300mくらいの小川に生息しており、この保護活動を行っている。

今回のIMのテーマは環境問題ですが、人類が生きている限りは永遠のテーマです。動植物は地球環境を汚していません。人間が全部汚しています。それ以外に貧富の問題、民族紛争、テロ問題、やはりアメリカが国益を優先するばかりに、この前のサミット、京都議定書を批准しない、核拡散防止条約を拒否する、まさしく国益経済ばかりを優先しています。

こういうことが世界より批判を浴びており、これが今回のテロ行為という形に表れたのではないのでしょうか。

これも地球自然環境問題に加えて、人類の環境問題も併せて考えて行く必要があります。このテーマも永遠のテーマであり社会奉仕委員会がこれに該当

する委員会だと思いますが、委員会の中に環境問題というものを取り入れて、これから考えて行くべきと思います。

小出社会奉仕委員長

IMに参加しました。

最初に当クラブの松谷会長が挨拶をされ、普段より例会のテーマに環境問題を取り上げておられますので、感心する内容が数多くありましたので、松谷会長にもう10分位、スピーチの時間があればと思いました。

環境保全という形で社会奉仕委員会にもありますが、環境保全、社会環境、自然環境保全是個人的にはテーマが大きすぎてわかりにくいですが、自然環境という点につき申し上げます。

私は下田村に住んでおりますが、自然環境を守って戴くのは、町に住んでいる人から努力して戴くしかないのかなと思います。

下田村の大平という場所にハッチョウトンボというトンボが棲んでいます。ハッチョウトンボは1センチ5ミリくらいのトンボです。オスは赤トンボのようにしっぽが赤いきれいなトンボです。メスは茶色っぽく目立たないですが、私も去年までこのトンボについては知りませんでした。

三条商業高校の先生がこの地区あたりにハッチョウトンボが生息しているとのことで、初めてわかりました。

水のきれいな場所にしか生息しないトンボですので大切にしたいと思います。

相場会員

9月8日(IM) INTERCITY MEETING に初めて参加致しました。

第1部は巻町文化会館で(三条RC)(燕RC)(加茂RC)(三条南RC)(分水RC)(見附RC)(吉田RC)(三条北RC)(田上あじさいRC)(巻RC)の10クラブ、総勢255名にて開催しました。

今回のテーマは地域における環境保全活動の現況報告と今後の活動課題と題しまして、午後1:00より午後4:00まで活発な各クラブの報告とこれを総合したバスターガバナーの大島精次さんの講評を伺いました。

コメントの一部として、人が捨てたゴミ1つを、人が1つ拾って、±0で、原点に戻っただけという言葉が印象に残りました。

総てのクラブに共通する環境保全活動は(植樹)(ゴミ拾い)でありました。

個人的な感想としては、植樹、ゴミ拾いも重要なこととは思いますが、環境保全にあたり家庭、学校

を含め、教育と自覚が重要かと思いました。

そして、第2部。

岩室温泉はてる大橋にて午後5:00~6:45、非常に和やかで楽しい会で、2部がメインか1部がメインか判らなくなりそうでしたが、1部と2部の両方がメインで合算されたのがIMと理解致しました。

次期、IMは(田上あじさいRC)がホストとなります。

地区役員 細井会員

約4年振りにIMに参加させて戴きました。

まず、最初に分水クラブの平野さんがお亡くなりになられたことを聞いてショックでした。と、申しますのも私が会長のときの分区代理でございます。また、彼は私と同じ年でありまして、2560地区の最後の分区代理であります。その翌年からアシスタントガバナーという名称に変わったわけでございます。

私も30年くらい前の話ですが、分水クラブができた頃、彼もチャーターメンバーですが、どういう訳か、私はメーキャップによく分水クラブに参りました。三条におられて、大阪の第一線で活躍された森川氏が初代の会長さんで親しく、お話させて戴きました。当時、私は出張が多く、分水クラブに月1回~2回はメーキャップに参りました。それで、平野さんと親しくさせて戴いたし、私と同じ年で急死されたということで、ショックを感じたわけであります。

巻クラブは会員が26名の小さなクラブですが、本当に良く頑張っているなあとと思いました。これも私が会長の頃、巻クラブが10周年の時も、はてる大橋で会がありました。小さいクラブですけどアメリカのRCと姉妹クラブを結んでおられる等、積極的な活動をされ、立派だなあとと思いました。

大島バスターガバナーの講評で世界全体で20名~30名くらいの会員のクラブがいちばん多いとのこと。日本は大きいクラブが多いほうです。アジアの10名くらいのクラブでは、会費で食事も捻出できないので、食事を済ませた後、会合を行うクラブも多くあります。

今回の巻クラブのIMは非常に立派で一生懸命にされておりました。

環境保全ということのテーマで開催されましたが、大島バスターガバナーが、ロータリーの会員一人一人が、一人で道を歩いている時に落ちているゴミが拾えるかというお話がありましたが、これが環境保全の原点であるとお話されました。

私もなかなかできないことですが、全く同感でありました。

佐藤浩一会員

初めてIMに出席してその報告をとのことですが、若干私なりに感じたことをご報告します。

開会してあっという間に30分休憩には驚きました。フォーラムでは、当会松谷会長、見附RC佐野会長の「個人、自社において環境保全を考えなくして問題の幕は降りない。」との話が印象に残っております。

今回のIMはプログラムの巻頭に佐野ガバナーが「IMは一般的討論の場であり、決議はないことになっております。いわば楽しさがある程度上回ってよい性

質のものかも知れません。」と記述されておる通りに運営されたようです。

フォーラムの後はアトラクション、懇親会と続き、楽しく時間が過ぎて行きました。ただ参加費は全額もしくは一部個人負担でもよいのではないのでしょうか。クラブの経費節減、そして何よりも、自分の意思で出席した実感がより沸くのでは……。 (これは私だけの思い込みかもしれませんが)

以上、雑駁ですが終わります。

次週例会 9月25日 佐野ガバナー公式訪問 於二洲楼

次々週例会 10月2日 ライラ報告



